

2 目標達成計画

事業所名 認知症のひと暮らし家 五福

作成日 令和 6年 9月 23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	年齢も高齢となっており、出来る事が少なくなっている。	残存機能を活かし、少しでも出来る事を継続して行うように、引き続き行っていく。	料理をする際に、キャストが出来ないと思いきまず、包丁の認知できる方には包丁をお渡しし一緒に材料を切ってみる。包丁の認知が出来ない方には目の前で実際に材料を切って見せ、一緒におこなう。	随時
2	38	1日の流れは決まっていないが、病院受診などの予定がある場合、キャスト主体になってしまう事がある。	入居者のお好きなように1日を過ごしていただく。	まずは入居者に声をかけ挨拶をする。入居者に体調の確認や今のお気持ち、何かやりたことが無いかお聞きしたりご提案したりする。実際にやりたい事があれば一緒に行う。	随時
3	2	コロナ禍の為、地域の行事に参加し交流することがあまり出来ていない。	地域の行事に参加することで、今以上に地域の方々と交流、社会との繋がりを深めていく。	世間の状況を常に把握し、地域との連携を密にし、行事に短い時間からでも参加していく。(年3回)	随時
4	35	災害対策について、備蓄食などについての検討が必要である。	食事形態によって、対応できるように備蓄食の内容の検討をおこなっていく。	入居者の食事形態(普通食・ミキサー食)表を作成する。紙や保管する箱に何がどこに何個入っていて、期限がいつまでであるのかを記載する。	3ヶ月
5					